

《冷房器》の上手な与え方

金属でできた異物を怖がったり警戒する傾向があります。

優しくプレゼントしてあげてください。

●怖がらせない。

●警戒させない。が、与えるときのポイントです。

良い物を買ってあげたから使いなさい!! という与え方は、人間目線です。

ペットは自分の生活圏（縄張りやケージの中）に、金属の光沢のある異物が出現すると、警戒する傾向があります。ペットによっては怖がる場合もあります。

本器は、ペットが怖がらないように光沢を消したメッキ処理をしております。

全く警戒しないペットもいますが、警戒して数日は近寄らない場合もありますので、ペットの性格に合わせて、上手に与えてあげてください。

最初にこの《冷房器》をあたえるときに、

うさぎや犬や猫などのペットは、初めは、この《冷房器》の価値を全く理解していません。

ただ、【変なモノ】が縄張りに入ってきたという理解でしょう。従いまして、設置してもすぐには使ってくれないペットがいます。

まず、

自分の縄張りに入ってきた【異物】を受け入れるところから始めてあげてください。

プレートが、夏はヒンヤリ冷えていれば、冬はほんわかと暖まっていれば、そこが気持ちの良い場所だということを賢いペットたちはすぐに覚えて、自然に使用するようになります。

例① さりげなく置いておくのが一番効果的です。

ケージの中に設置する場合はさりげなくというわけにはいきませんが、犬や猫やうさぎには、暑い時に涼める場所・身体を冷やせる場所（温度が低くて風通しの良い場所）を探す本能と習性があります。同じく、寒いときには暖かい場所を探す本能が働きます。

さりげなく置いておいて、ペット自身が『アッ！！いいところ見つけた！！』と思えるような与え方が理想です。

例② 食べ物誘導型が効果的です。

好物をプレートの上に置いておくことで、良い場所という学習が出来て、警戒心を和らげることができます。

例③ お座り型。

言うことを良く聞く犬の場合には、ハアハアと舌を出して暑がっているときにプレートの上にお座りをさせることで、居心地良さを知って、使い始めます。
ただし《座らせられるいやな場所》と学習されると逆効果になります。

例④ ケージの中に設置型。



Mimi ちゃんはすぐに使い始めました。暑い日なので、お腹をプレートに押し付けています。

ケージの中にセットする場合には、冷房器の場所と、使いたくない時に居る場所の 2 か所をしっかりと確保してあげてください。

「いつでも載れば涼める（冬は暖まる）場所がある」という安心感を持たせてあげるこ

とができます。

涼めるところがある。暖かいところがあるということを知っているだけで、暑さ寒さに対するストレスを軽減する効果があります。

ただし、ケージの中は100パーセントうさぎの縄張りです。

縄張りの中に突然入って来た異物を警戒して数日は乗らないうさぎもいますので、怖がりたり警戒するうさぎの場合には、一晩か二晩ケージの外に置いて観察させておくと、『危険でない』ということを経験します。

例⑤ 布カバーを敷いてあげる方法。

冷却板に、使い慣れたタオルなどの布をかけてあげると、安心して使用する様です。布の厚さで吸熱力を調整することができます。



【お願い】

なかなか使わなかったペットの使用成功例・御苦労の例など、お知らせいただければ幸いです。涼んでいるところを紹介できる写真を送っていただけたら嬉しいです。

《ご注意とお願い》

●コードを齧られないようにくれぐれもご注意ください。コードを齧ってもペットに危険はありませんが、断線すると使えなくなります。保障の対象になりません。特にうさぎは齧りたがりますのでご注意ください。

付属のコイルチューブをコードに被せると、齧られ事故を軽減する効果があります。

●ペットが小さい場合。ペットが本体の後ろに回り込めない置き方・対策をしてください。スイッチボックスの下部に露出している本体配線のコードを齧る場合があります。